

SAPPORO

2026年度第10回 定例市長記者会見

令和8年9月25日（金曜日）
札幌市

「第21回世界冬の都市市長会議」に伴う出張からの帰国報告について①

■会議開催期間

9月8日(火)～10日(木)

■開催都市

フィンランド・ロヴァニエミ市



▲市長会議会場の様子

■メインテーマ

「冬の都市における持続可能な都市イノベーションと健康的で活動的なライフスタイル」

「第21回世界冬の都市市長会議」に伴う出張からの帰国報告について②

■サブテーマ

① 気候に配慮した冬の都市を目指す 都市イノベーション

＜札幌市の発表＞

まちづくりと一体的に展開する
札幌都心のエネルギー施策



▲ロヴァニエミ市の発表を聞く秋元市長

＜その他の発表の主な例＞

- ・暗闇も含め「都市の魅力」として見せる都市デザイン等
(ロヴァニエミ市)

「第21回世界冬の都市市長会議」に伴う出張からの帰国報告について③

■サブテーマ

② 冬の都市での健康的で活動的な ライフスタイル

<札幌市の発表>

「Well-Moving City SAPPORO」
いつでもどこでも誰もが心地よく、
心も一緒に動くまち、札幌



▲札幌市の発表の様子

<その他の発表の主な例>

- ・「夏の暮らしを前提とした都市計画や生活習慣」を課題として捉えた冬の生活を想定した都市計画事例（基調講演）

「第21回世界冬の都市市長会議」に伴う出張からの帰国報告について④

■冬の見本市

札幌市のブースでは、札幌についての都市紹介の他、札幌国際芸術祭2027（SIAF）についてPR



▲冬の見本市札幌市ブースの様子

■全体会議・閉会式

世界冬の都市市長会としての今後の取り組みの方向性や目標を記した

「ロヴァニエミ宣言」などを採択し、当該文書にロヴァニエミ市長（開催市）と札幌市長（会長）が署名



▲ロヴァニエミ宣言への両市長署名

●「第21回世界冬の都市市長会議」に伴う出張からの帰国報告について

このたび、フィンランド・ロヴァニエミ市で開催された「第21回世界冬の都市市長会議」に出席するため、同市を訪問しました。

今回の会議では、冬の課題を抱える都市同士で「持続可能な都市イノベーションと健康的で活動的なライフスタイル」について事例を共有し、学び合うことができました。

積雪寒冷地ならではの強みと魅力を生かした持続可能なまちづくりや、健康的で活動的なライフスタイル実現に向けた取り組みなど、今回の出張を通して得られた知見を生かし、冬を唯一無二の資源・資産として、本市の魅力を高めていけるような取り組みを進めてまいります。

1 訪問先

フィンランド・ロヴァニエミ市

2 訪問者（計8人）

秋元市長、市長秘書1人、前田市長室長、国際部職員5人 計8人

3 主なスケジュール

日程	スケジュール内容
9月7日（月）	移動日
9月8日（火）	・世界冬の都市市長会総会 ・環境保全に関する行動目標の最終報告 ・開会式 ・市長会議セッション（事例発表）：サブテーマ① ・ロヴァニエミ市長表敬訪問 ・開催市（ロヴァニエミ市）主催オープニングレセプション
9月9日（水）	・市長会議セッション（事例発表）：サブテーマ② ・冬の見本市 ・市内視察 ・世界冬の都市市長会会長（札幌市長）主催夕食会
9月10日（木）	全体会議・閉会式
9月11日（金）	移動日

4 「第21回世界冬の都市市長会議」の概要

- (1) 開催期間：9月8日（火）～10日（木）
(2) 会場：サンタズホテルサンタクロス 他
(3) 参加都市等（4カ国13都市・団体等）※下線の都市は会員都市
（日本）札幌
（中国）長春、（フィンランド）ロヴァニエミ、イナリ
（韓国）華川、麟蹄、太白
（学術機関）ロヴァニエミ市教育連合、北海道大学北極域研究センター、
ラップランド大学北極センター
（その他）在ロヴァニエミ大韓民国名誉領事、ラップランド地域連合、
ビジネスオウル

(4) テーマ

ア メインテーマ

冬の都市における持続可能な都市イノベーションと健康的で活動的なライフスタイル

イ サブテーマ

- ①気候に配慮した冬の都市を目指す都市イノベーション
②冬の都市での健康的で活動的なライフスタイル

5 主な会議プログラムおよび併催イベント

- (1) 世界冬の都市市長会総会及び開会式
会員都市が集まる総会において、憲章の規定に基づき、役員改選や予算・決算、事業計画などについて協議した。

開会式では、会員都市の他、オブザーバーも参加し、開催都市であるロヴァニエミ市長や会長である札幌市長からの挨拶などのセレモニーが行われた。



- (2) 環境保全に関する行動目標の最終報告
2021年11月のロヴァニエミ市長会議決議に基づき各都市が設定した環境保全に関する行動目標について、この4年間の取り組みの最終報告を行い、札幌市からは、あらかじめ設定していた札幌市気候変動対策行動計画に基づく指標の最新状況について報告した。



- (3) 事例発表①

サブテーマ①「気候に配慮した冬の都市を目指す都市イノベーション」に基づき、関係者より事例発表が行われた。

札幌市からは、「まちづくりと一体的に展開する札幌都心のエネルギー施策」として、積雪寒冷地における都市再開発と高度なエネルギー戦略を統合した取り組みを紹介した。



- (4) 事例発表②

サブテーマ②「冬の都市における健康で活動的なライフスタイル」に基づき、関係者より事例発表が行われた。

札幌市からは、「札幌市が目指す新たな冬の都市空間像 Well-Moving Cityについて」として、札幌市の新たな都市空間コンセプト「Well-Moving City SAPPORO」を紹介した。



- (5) 冬の見本市

会議併催イベントとして開催された冬の見本市では、会議参加都市や学術機関、企業等が参加し、展示を行った。

札幌市からは、札幌市の都市紹介の他、2027年1月に札幌市で開催される札幌国際芸術祭（SIAF）2027に関する展示を行い、来場した市民や地元の企業、学術関係者などにPRを行った。

(6) 全体会議・閉会式

閉会セッションでは、冒頭にロヴァニエミ市の子ども議会議員による発表が行われた。

また、会議の協議結果を総括し、市長会としての今後の取り組みの方向性や目標を確認し、会議の成果としてロヴァニエミ宣言（別紙）などを採択し、開催都市のロヴァニエミ市長と会長である札幌市長が署名を行った。



6 参考資料

ロヴァニエミ宣言（和訳）

【問い合わせ先】

総務局国際部交流担当課 佐藤、平塚
電話：211-2032、ファクス：218-5168

ロヴァニエミ宣言（日本語訳）

第21回世界冬の都市市長会議にて採択
フィンランド、ロヴァニエミ、2026年9月

「冬の都市における持続可能な都市イノベーションと健康的でアクティブなライフスタイル」をメインテーマに掲げ、世界冬の都市市長会加盟都市の市長および代表者は、2026年9月、フィンランドのロヴァニエミに集い、第21回世界冬の都市市長会議を開催した。

1981年の札幌での設立以来、世界冬の都市市長会（WWCAM）は、冬の都市を結びつけながら、寒さと雪という厳しい環境への対応から、近年では気候変動や環境の不確実性や、住民のウェルビーイング（幸福）を支援するニーズの高まりといった、共通の課題へ取り組んできた。

ロヴァニエミ会議では、都市に住まう人々に焦点を当てた。厳しい冬の条件下で住民のウェルビーイングを支えることは、すべての冬の都市にとって共通の課題である。地域社会とのつながり、アクティブなライフスタイル、そして安全で持続可能な未来への信頼は豊かな生活の基盤であり、それらを育むことは都市のリーダーである私たちの責務である。気候変動はこの取り組みに新たな複雑さをもたらした。気象パターンの変化、異常気象の頻発、そして未来に対する広範な不確実性により、都市の物理的なインフラだけでなく、住民の精神的な強靱さ（レジリエンス）や希望を見出す力への新たな対応が求められている。

基調講演やプレゼンテーション、都市間交流、地域の人々や企業との交流を通じて、私たちはこの会議で、住民や組織の繁栄に何が必要かについて理解を深めた。また、若者たちの声に耳を傾け、その未来へのビジョンに触れることで、私たちが今日下す選択の緊急性と重要性を改めて認識した。

これらの議論を踏まえ、我々世界冬の都市市長会会員都市の市長および代表者は、各都市においてアクティブで健康的なライフスタイルを支えるインフラ、コミュニティ、および社会構造を強化し、冬を負担としてではなく、都市とその住民にとっての唯一無二の資源および資産として、前向きに受け入れることをここに誓約する。我々は、季節が変化し、不確実性が増す世界において、システム、コミュニティ、および住民のレジリエンスを構築することが不可欠であることを認識している。このような中、共通の課題に対処するために、冬の都市間の継続的な協力が必要である。したがって我々は、今後もWWCAMコミュニティへ貢献していくことをここに誓う。

ロヴァニエミでの対話は、協力と学び合いへの新たな道を開いた。我々は、冬が何をもたらそうとも、都市が繁栄し、住民が心身ともに健やかに生きられるよう、この取り組みを「共に」前進させていくことを約束する。